

参加申込  
事前登録



<https://x.gd/wlFoE>



# 第4回 ソーシャルデザインフェス

映画上映会・対話会

併設：情報展示の場

テーマ： 関係性を紡ぐ

～わたし、あなたが、行きかいまじわるその先で～

● 日時 2024年 **5/26** (日) **13:00～18:30** (開場12:30)

● 場所 **立教大学 池袋キャンパス 太刀川3階カンファレンスルーム**

● 参加費 一般2,000円 大学生1,000円 高校生以下無料

● 主催 ソーシャルデザインフェス実行委員会

● 後援 立教大学大学院社会デザイン研究科、一般社団法人社会デザイン・ビジネスラボ



池袋キャンパスへのアクセス

## 関係性を紡ぐ ～わたし、あなたが、行きかいまじわるその先で～

講義	「関係性を紡ぐ」	講師	中村 陽一	立教大学名誉教授
映画上映会 感想共有	『人生フルーツ』 (日本語字幕)	ファシリテーター スピーカー	吉澤靖博 大熊玄 照井敬子	薬樹ウイル(株)代表取締役 立教大学教授 薬樹(株)サステナブル担当MG
パネルディス カッション	「人と人が持ち合う場を 今、つくり、続けるということ —コモンズについての対話」	コーディネーター パネリスト	中村陽一 深野弘之 竹之内祥子 糟谷明範	立教大学名誉教授 「ニシケバレイ」オーナー 「okattel(おしおぎ)」オーナー 「たまれ」ファウンダー

情報保証：UDトークにチャレンジします！

### 【ソーシャルデザインフェス2023 参加者の声】

- 初めて参加しました。盛りだくさんの内容でしたが、気づきを整理しながら考えを深めることができる時間でした。
- 「ソーシャルデザイン」についてよくわからないまま参加しましたが、楽しめました。様々なバックグラウンドの方と意見交換できたのはよかったです。また、半日間のプログラムは、参加前は「長いかも」と思っていたのですが、実際はそんなことはなく、集中力を継続することができました。
- 「社会を今よりよくしたい」と考える皆さんと過ごす時間は大変有意義なものでした。ここでのつながりを率先して事業に取り入れていきたいと思えます。

# 登壇者プロフィール

## 映画上映『人生フルーツ』（日本語字幕）＋感想共有

### 大熊 玄



立教大学大学院社会デザイン研究科・文学部教授。石川県西田幾多郎記念哲学館副館長。金沢大学非常勤講師、石川県西田幾多郎記念哲学館専門員・学芸課長を経て、現職。著書『鈴木大拙の言葉 世界人としての日本人』（朝文社）、『鈴木大拙／大拙の言葉』（金沢市国際文化課）、『はじめての大拙—鈴木大拙 自然のままに生きていく—の言葉』（ディスカバー・トゥエンティワン）、『善とは何か』『実在とは何か』（新泉社）。共著『鈴木大拙と日本文化』（朝文社）。編著書『西田幾多郎の世界』（石川県西田幾多郎記念哲学館）。

### 吉澤 靖博



薬樹ウィル株式会社代表取締役（障害者雇用）、ソーシャルヘルスケア経営塾主宰、薬剤師。1989年薬樹株式会社入社、2007年東京理科大学大学院知的財産戦略専攻修士課程修了、主な著書『地域ブランドのコンテキストデザイン（共著）』等

### 照井敬子



薬樹株式会社 サステナブル担当マネジャー。医療という人の命に関わる仕事だからこそ持続可能な仕組みを大切にしたいと考え、社内のSDGs推進や一般の方向けに啓発イベントを行う。

## パネルディスカッション

### 中村 陽一



立教大学名誉教授、東京大学大学院情報学環特任教授、青森中央学院大学経営法学部特任教授、神奈川大学国際経営研究所客員研究員、一般社団法人社会デザイン・ビジネスラボ代表理事、株式会社ブルーブラックカンパニー代表取締役、社会デザイン学会会長。編集者、消費社会研究センター代表、東京大学客員助教授、都留文科大学教授、立教大学大学院社会デザイン研究科・法学部教授、社会デザイン研究所所長等を経て現職。80年代半ばより市民活動・NPO/NGOの実践的研究。基盤整備、政策提言に取り組む。一般社団法人ソーシャルビジネス・ネットワーク常任顧問等SB/CB推進、民学産官協働によるまちづくりの専門家としてCSR、SDGs、ESG投資等もカバーしている。ニッポン放送「おしゃべりラボ〜しあわせ Social Design」パーソナリティ。編著・共著に『ひとびとの精神史6』（岩波書店）、『3・11後の建築と社会デザイン』（平凡社新書）、『21.5世紀の社会と空間のデザイン』（誠文堂新光社）等多数。

### 深野弘之



1970年生まれ。有限会社深野商事代表取締役。深野家17代目。妻と娘と3人暮らし。先祖からバトンを受けた豊島区西池袋の一隅を2020年7月から「ニシイケバレイ」と称し、大家業を営む。  
<https://nishiikevalley.jp/>

### 竹之内祥子



マーケティング会社を経営後、2015年、メンバーシップ制のコモンキッチン／スペース&シェアハウス「okattelにしおぎ」をオープン。2018年、立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科博士前期課程修了。-able society（エイブルソサエティ）研究会代表。

### 糟谷明範



総合病院、訪問看護ステーション勤務を経て、2014年に株式会社シンクハピネスを創業。医療と暮らしの境界線を曖昧にすべく、訪問看護やカフェなどの事業を行いながら、「たまれ」というコミュニティを運営している。

## プログラム

- 13:00 開会（12:30開場）
- 13:15 中村先生講義
- 13:45 休憩
- 13:50 映画上映『人生フルーツ』＋感想共有
- 16:05 休憩
- 16:15 パネルディスカッション
- 17:45 閉会・交流会（～18:30）

「ソーシャルデザインフェス」は、多様なバックグラウンドを持つ人々が一堂に会し、共通の興味や課題について情報交換やディスカッションを行い、相互理解を深め、協力関係を築くための場です。2024年のテーマは「関係性を紡ぐ～わたし、あなたが、行きかいまじわるその先で～」で、「関係性」について考える機会を設けます。参加者同士で「わたしは」の主語で語られるような問いかけをシェアすることで、自分の関わり方と他者と関わり方の違いや交わる場所、そして、いくつもの「個人」が集まって形成される「地域」が見えてくると考えています。また、「関係性を紡ぐために必要なことは何か？」、「どのようにして関係性を紡いでいくのか？」など現状を見直し、新しい視点を見つける機会になることを狙っています。